

日本人がよく訪問する一般的な観光地ではなく、「人類とは」「社会とは」といった思索を深め知見を高めることができる場所を選んだ。
 米国シリコンバレーや中国深センなど最先端のビジネスを生み出す場所は趣旨からずれるので本リストに入っていないが当然訪問すべきである。

	国名	都市・地域	概要
アジア	インド	コルカタ（カルカッタ）	私が訪問した世界1000以上の中でも最も混沌としたイメージを与える都市。混沌とした中に、マザー・テレサが活躍したマザー・ハウスや詩人タゴールの生家もある。東京裁判で活躍したパル判事は、コルカタ近郊の貧困層出身で想像を絶する刻苦勉勵を経て判事になった。混沌とした中から偉大な人物が多数出ている。私は街を見ながら「人間とは何か」「社会とは何か」を考えた。
	カンボジア	プノンペン・トゥール・スレン博物館	1970年代後半のポルポト時代に拷問され処刑された刑務所が博物館になっている。人類史に残る悪行について記憶にとどめて置いておきたい。
	ウズベキスタン	タシケント	博物館に行くと、仏教関連の展示もある。かつて仏教国であったところにイスラム教が入ってきた。重層的な宗教構造は視野を広げてくれる。
南北アメリカ	米国	ワシントンD.C.・ホロコースト記念博物館・国立アフリカ系米国人歴史文化博物館、ハワイ・真珠湾	人種や民族の違いがいかに過酷な運命をもたらしてきたかを知るための博物館。同質性の高い日本人は訪問しておきたい。また、第二次大戦で日本軍が攻撃した爪痕が残る真珠湾も訪問し第二次大戦について改めて認識を深めるべきである（アジアの侵略地についても同様である）。
	カナダ	バンクーバー	アジア系住民が多く、白人系カナダ人と社会的に比較的融合している。移民が移民の文化を大切にしながら社会で力を発揮できる土壌がある。
	ブラジル	サンパウロ	白人系、混血系、アジア系が入り混じる。ブラジルは結婚を見て見ても比較的人種差別が少ないと言われるがその点を実感できる。苦難の日系人の歴史を知ることができる博物館もある。
	ボリビア	—	先住民の割合が高い。街を歩いていると先住民の衣装を着た女性と多く会う。中南米の先住民についての理解を深めることができる。
欧州	ボスニアヘルツェゴビナ	サラエボ	バルカン半島の多数の民族が交錯した都市。第1次大戦の勃発の契機となった暗殺事件も起きた。多様な民族の交錯について学ぶことができる。
	ポーランド	アウシュビッツ	ユダヤ人の収容所があった場所。世界市場最大級の悲劇であるユダヤ人虐殺について実感として知ることにはグローバルリーダーとして死活的に重要。現在も多くのユダヤ人がイスラエルの国旗を掲げて訪問している。
	ロシア	サンクトペテルブルク	ロシアの古都。西欧に負けたくない国家を作ろうとしてピョートル1世が建設した。ロシアと西欧との関係の原点を見える上で欠かせない場所。エルミタージュ美術館も圧巻。
中東	イスラエル	エルサレム	「世界で訪問した中でどこが一番良かったですか」という質問に対して、私は「イスラエルのエルサレム」と答えることにしている。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地。音楽、美術など多くの文化財もある。宗教と芸術について知見を深めるにはできればエルサレムに1か月程度滞在したい。
	サウジアラビア	メッカ	預言者ムハンマドが生誕してイスラム教を開創したイスラム教の聖地。イスラム教徒以外は入ることができないため、私は街の手前で引き返した。引き返した場所でも街の宗教的な神聖さは感じる事ができた。
アフリカ	エジプト	ナイル川流域農村	農村の牛馬を使った農法を見ていると古代エジプト時代とあまり変わりはないのではとの錯覚にすら陥る（実際は電気もあるインターネットもある）。私は農村出身の文盲のメイドさんと2年間エジプト人家庭の下宿先で暮らした。貧しくて教育を受けていなくても、正直で誠実、勤勉な人がいることを学んだ。悠久のナイル川、氾濫を繰り返したナイル川の流れを見ながら、「人間とは何か」「自然とは何か」「神とは何か」を考えざるを得ない。
	ケニア	ナイロビ・キベラ	アフリカで最大級のスラムがある。スラムの家に電気があることや子供が小学校には通っていることなど、アフリカの貧困を考える際に色々な情報を与えてくれる。
	ボツワナ	ガボローネ	ダイヤモンド生産で得た資金を国民の教育などに投資してサブサハラアフリカで経済的に成功している。街はきれいに掃除をされており、治安もよい。富裕層とまでは言えない中間層のボツワナ人がしゃれたレストランで食事をしている中に身を置くこと貧しいサブサハラアフリカ、治安の悪いサブサハラアフリカという先入観が間違っていることがわかる。
	ルワンダ	キガリ・ジェノサイド博物館	1994年の虐殺（ジェノサイド）の記憶を残すための博物館。「普通の人間が極限状態に置かれるといかに非道になってしまうか」について深く考えさせられる。
	ガーナ	ギニア湾・ケープ・コースト城	ガーナが面するギニア湾は多くの奴隷貿易の拠点となった。ケープ・コースト城は世界遺産になっている。